

事業所名	てらびあぼけっと 堺教室	支援プログラム（参考様式）	作成日	7年	2月	2日
法人（事業所）理念	全ての答えはお子様の中にあります。可能性を見つけて差し上げる集団になろう					
支援方針	個別及び小集団でのABAセラピーを行い、お子様の発達のお手伝いをさせていただきます。 ①たくさん・・・825項目の基準ステップを基に、お子様の発達に合わせたセラピーを専門の指導員が組み立てます。 ②ちいさく・・・こまかく段階分けされたステップを一つずつ登っていくことによって、目標を達成していくプロセスを見つけていきます。 ③確実に・・・少人数クラスでその日一緒にいる先生がお子様のプログラムの進捗を確認し、定着（般化）につなげて、お子様の成長を見守ります。					
営業時間	10時00分	から	17時00分	まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の健康状況を把握するとともに、保護者様と連携して生活リズムを整えることや、健康に資する関わり、体の成長に伴った運動等を計画して取り組みます。 ・トイレトレーニングにおいては、ストレスのない状態で安心して排泄できるよう、環境設定とスモールステップの検討、達成時の喜びを共有しております。 ・生活状況に合わせた、手足の使い方、身体の使い方などを取り入れて、生活に必要な基本的技能の向上を図り、身辺自立につなげていきます。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて歩く、走る、止まる、手を繋ぐ等様々な動作が入った「リズムウォーク」を毎日取り組みます。発達過程にある身体の統合と分化のための運動を行います。 ・粗大運動や微細運動を課題の中で行いながら、視覚・聴覚・触覚・前庭覚・固有覚の使われ方を観察し、複数の感覚を統合しながら生活動作に繋げていきます。 ・その感覚支援に加え、身体機能の向上や姿勢の維持に沿って、集中力・持続力が整っていき、指示の受容を促進していった将来的に45分授業に耐えうる力を育てます。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・形、数、色、時間の流れなどをカードや立体的な教具を使い、五感を活用しながら、社会の中にあるルールや道具の使い方、意味などを理解していく支援を行っていきます。 ・視覚的な手がかりや言語、タイマーやタイムテーブルなど、時間の概念をきちんと認知してもらえる環境を作り積極的に介入します。 ・特性に配慮しつつ、認知や行動に偏りがあることにより、社会性の獲得や生活に難しさが生じている場合はその為の支援を保護者様と一緒に考えていきます。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは要求を作るところから始めていきます。人に伝える意欲こそ、発語への第一歩です。 ・言語の受容と表出の支援では、カードや教具を使うだけでなく、その活用方法も含め、歌や集団活動、発言機会などを多く盛り込むことで、早期の発語と会話の発展へに繋がります。 ・少しの表出であっても大人がしっかりと受け止めて応答することで、伝わった経験を沢山持ち帰っていただきます。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは安心できる大人との関係、教室への信頼を得ることから始めます、そこから周囲の人や物への興味を広げていき、社会性の萌芽を企図します。 ・感覚機能的な一人遊びから、見立て遊びや平行遊びへと発展させ、ルールの学習とともに共同遊びへと繋げていきます。 ・他者との関わりの機会を作り、自他ともに適切な関わりができる方法、言動を実際に日常の中で活かせるように、一つずつ学びを積み重ねられるように段階を作っていきます。 				
家族支援	保護者様との定期的なご面談は勿論の事、毎日の支援結果のフィードバックに時間をかけております。 ①本で行ったセラピーの内容の報告②ご家庭でのお困りごと、保育園等での様子や園からの指摘③ご自宅でもできる簡単なセラピーの方法のご案内などを、直接のご面談に限らず教材や動画などでもご案内しており、保護者様の丁寧な子育てにお役立てを頂きます。	移行支援	個別面談での就学や就園に関する情報提供を行います。 保育園、幼稚園で円滑に過ごして頂けるよう、療育を無くしていくことも最終的な移行支援です。			
地域支援・地域連携	園訪問支援、学校訪問、関係機関との連携会議を随時実施しております。	職員の質の向上	入社時には必ず本部のセラピスト基礎研修（3日間）を受講しています。 適宜オンライン研修、事業所内研修、セラピスト段位試験の受験などを行い、支援技術の向上に努めております。			
主な行事等	季節の学習として、個別だけでなく、集会場面や小集団の課題の中で行事ごとの学習を行っています。					

学ぶための基本となるもの	語彙や言語を学ぶもの 4		お話のくみだてや会話
<p>学習姿勢 2 1</p> <p>模倣 3 2</p> <p>指示の受容 3</p> 	<p style="text-align: center;">内容</p> <p>名詞 色 形 場所</p> <p>動詞 形容詞 分類</p> <p>位置 数 感情 性別</p> <p>過去・現在・未来（時制）</p> <p>曜日 月 季節</p> <p>ひらがな 助詞</p> <p style="text-align: center;">伝え方</p> <p>マッチング</p> <p>受容</p> <p>表出</p> <p>絵カード</p> <p>手話・サイン</p> <p>文字</p> 	<p>言語拡張 4</p> <p>自身の情報 4</p> <p>はい・いいえ 3</p> <p>話の順序 5</p> <p>ブレインストーミング 5</p> <p>質問の識別 3</p> 	

- 1 健康・生活
- 2 運動・感覚
- 3 認知・行動
- 4 言語・コミュニケーション
- 5 人間関係・社会性

人との関わり	生活に必要な力を学ぶもの
<p>遊びのスキル 2</p> <p>マンド 4</p> <p>共同注意 4 2</p> <p>社会的スキル 5</p>	<p>生活動作 2 1</p> <p>トイレトレーニング 1</p> <p>就学チェックリスト 5</p> 

ここに 動画のリンクを貼っておく <https://youtu.be/ZsKunlyYcds?feature=shared>

10:00	13:00	15:00	<p>順次到着 健康状態の確認、連絡帳の提出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日担当がお子様の様子を伺い、本日の支援につなげます。 <p>水分補給、トイレ、荷物の整理、着替え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身辺自立も個別に支援を行い、出来る事を増やしていきます ①
10:05	13:05	15:05	<p>リズムウォーク ② ③ 専門的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて歩く、走る、止まる、手をつなぐといった基本動作を中心に行い、体を使って、体幹を安定させ、セラピーに取り組みやすい姿勢作り等の専門的支援を行います
10:20	13:20	15:20	<p>はじめの会（あいさつ、出席確認、お返事、スケジュールの確認） ④ ⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小集団で実施します。個別プログラムで行ったことをみんなの前で出来るように支援したり社会的場面での成長のヒントを見つけます。また専門的アプローチを行います 専門的支援
10:35	13:35	15:35	<p>個別支援 ② ③ ④ ⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の目標や障害の特性に応じて、今後の社会生活を送る上での様々な課題にチャレンジします。 ・状況に応じて小集団で。初めて取り組むことは個室で。出来るようになってきたら、大きな部屋や集団、ご家庭でもチャレンジできるように進めます。 子育てサポート <p>水分補給、トイレ ①</p>
11:30	14:30	16:30	<p>かえりの会 ④ ⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小集団で実施します。待つ、座る、順番を守る、ルールの理解も学びます。 <p>連絡帳のお渡し 家族支援・ベアトレ</p> <p>（この時点でお迎えにお越しくださいませ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日のプログラムとその時の様子等をお伝えし、ご家庭用のプログラムが記入された連絡帳をお渡しします。
11:50	14:50	16:50	<p>帰りの支度</p>
12:00	15:00	17:00	<p>ごあいさつ お帰り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母様お父様と手をつないでお帰り。きちんと他のお子様やスタッフにもご挨拶ができるように促します。